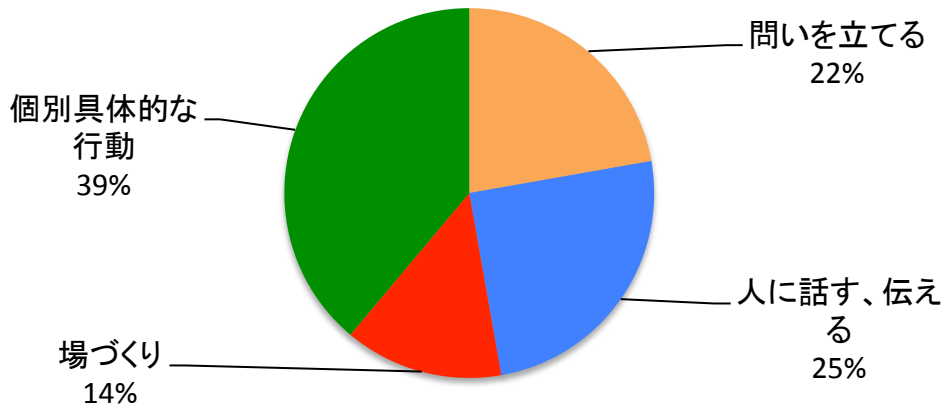


## Q. その変化を経て、あなたが挑戦する最初の一步はなんですか？

公開講座を終え、シートにご回答くださった参加者の「最初の一步」をざっくりと分類したグラフ。  
まずは身近なことから始めようという人から、自らの事業でのアクションまで多様な行動をお答えいただきました。

### 変化を経て、挑戦する最初の一步



#### 問いを立てる

公開講座のテーマでもあった「問いのデザイン」、日々の生活の中でも「問い」を意識されるようです。

「問い」をたくさん立てて共通項を見出す。

家族との話の中で今日の講義のことを伝えて一緒に何か問いを立ててみたい。

普段投げかける質問をちょっと考えて投げる。  
福祉分野にデザイン視点を入れるための活動をする。

“問い”をデザインする心がけ

問いを立て、ほかの人にも問うてみる（立てた問いでワーク）

まずはタフな問いを立てること。自分の言葉で、その理由を伝えられるようになりたい。  
問いを口にするクセをつけたいです～！

次の事業の問いを考える。

## 人に話す、伝える

相手に伝えたり、相手からのフィードバックをもらうことで、より良い「問い」にしていくべく行動されるようです。

まずは自分の「問い」を周りの人に話すこと。フィードバックをもらう。飲み場やカフェなどで友人、同僚と話してみる。

その共通項を問題意識としてSNSで発信

自分がやりたいこと、行動を出来るだけ多くの方に発信して多様な意見を頂く

システムエンジニアの地位向上や魅力ある職種にする為に、一般の方とIT（セキュリティ）等についてセッションを通じてシステムエンジニアの役割を理解してもらい、認知してもらう活動を行う。

自分一人で考えていることを周りに共有する。意見をもらって膨らませる。

自分が普段考えていること、疑問に思っていることを自分の中だけで完結させずに、どんどん外部に発信することでアップデートしていき、人を巻き込む「問い」を練りたいと思った。

- ・行動する
- ・「問い」をさらして、アップデートして、他人を巻き込んでいく感じで…

自分の将来やりたいことである「小、中、高、大学生へのキャリア教育」について、自分で考えるだけでなく、まずは他人の意見も色々と聞かせていただく機会を作りたいなと思います。

## 場づくり

自分の問いを含め、多様な人たちが参加できる場の開催を目指されるそうです。

おそれず「発信」自分の囚われに気づき、人を巻き込める場を提供していきたい・・・（キボウ）

- ・自分のプロジェクトをよりよくする問いを考え、会議をひらく！
- ・もっと幅広いコミュニティ、年代も巻き込む。

誰もが参加し、発言できる場づくりにチャレンジ。プレゼンの資料もエッセンスを取り入れる。

まず、四万十町で「コミュニティ」についてワークショップをしてみたいと思いました。

これから立ち上げる団体では、発起人の立場ではないので、まずは発起人に「ワークショップ」をやって良いかどうかをイチカバチかで問いかけてみる。

## 個別具体的な行動

公開講座で学ばれたことを、ご自身の取組みや具体的な行動につなげていかれるそうです。

- ・ファシリテーションだったり、自分の考えを行動に起こしていければと思いました。
- ・まちづくりのために具体的にというビジョンは見えてませんが、まずは自分の周りである家族、会社から行動していけたらと思います。

お宝バンクに投稿する。

協働のまちづくりのアクターを増やすために「利己的」だからこそ「協力」したいと思える、「協力」って「お得」って思ってもらえるような仕組み作りを検討！

講座中にふと（今回の内容と違うのですが）自分の商品のサービス名を考え始めました。「ワークショップ」という言葉をアマゾンで検索したら2001年に出版された本が最初だと聞き、そこから日本にも広まっていったと思うので、人が興味を持つサービス名を考えてみたいと思います。

ボタン作業があれば協力できます。

「まちづくり お宝バンク」へのトライ

高齢者から子どもまで、活躍できるまちづくりに協力していきたい。

今、観光ガイドを使い嵯峨野観光が実現に向けて動いております。嵐山～嵯峨野～奥嵯峨テーマパークを

たくさんの方の「やりたい」や「悩み」にもっと耳を傾けていこうと思います。その上で、共同体同士をつなぎ、共同体に属さない役割も深めていきたいです。

個人的にはグラフィックレコーダーやってみたい！語学ボランティアした！  
会社的には良いと思ったことを素直にやってみたいと少し頭が柔らかくなったと思います。ありがとうございました。

ルーツの本屋さんという古本屋さんをオープンしてみようと思います。

さて、どうしましょうか。それを考えることから始めます。

名刺を作る。